

河越の一般質問その他

<地域自治組織への支援>

(概要) 住民主体の地域づくりは重要であり、その支援の財源を確保すべき。

<過疎債の効果的活用>

(概要) 借入金の70%が交付税措置される過疎債を更に効果的に活用すべきであり、特に定住促進住宅事業等の若者定住・移住と地元経済にも好影響が期待される事業を積極的に推進すべき。

<本町の福祉環境改善>

(概要) 国は地域包括ケアの名の下に地域医療・地域福祉の地域自立・効率化を求めているが推進には社会福祉協議会との連携が不可欠であり、連携の在り方を具現化すべき。

<地域活動支援センターきらら>

(概要) 本町は本年度の障害者日中活動施設の在り方につい

どうなる？巨大風力発電プロジェクト



6月議会において、2名の議員が本町に計画されている風力発電事業について、一般質問に取り上げ、多くの懸念事項を指摘しました。大きくは、①環境への悪影響、②人体・生活への悪影響、③災害誘発の危険性の他、事業者に責任意識と責任体制が欠如しているとの指摘でした。本町としての知事に対する意見書は提出済みでしたが、懸念を表明する追加意見書を提出することを町長も意思表示し、本議会としても議長名で知事宛の意見書の提出を議決しました。詳しくは議会だより51号を御覧ください。

て当事者抜きで決定した。実際には良い方向で進んでいるが、結果ではなく、今後、このようなことがあってはならない。更に、認定事業所化後も責任ある支援をすべき。

<本町の安全対策について>

(概要) 交通安全対策として、浜坂道路(居組-栃谷間)が完成すると長距離トラック等が県道浜坂井土線を通るものと想定されるが、井土(八日市)にはカーブ近くに登校路とな

る横断歩道があり、従前から現状での危険性が指摘されており、兵庫県但馬県民局に事の重大性を訴えるべき。

<ふるさと教育について>

(概要) 一人ひとりに大切な故郷がある。現場のふるさと教育は本町の良さのみを押し付けるのではなく、多様性と個々の人権を尊重した人間教育であるべきだと考える。

お知らせ

“めざせ世界・日本農業遺産”

「美方地域但馬牛」の世界農業遺産認定に向けて、日本農業遺産認定申請されました。農業遺産は有形遺産ではなく、生きている農業の仕組み全体のことです。ここ美方郡で育まれた良質但馬牛の生産【蔓(系統)を守る】手法の遺産認定を受けて、美方郡産但馬牛の更なる付加価値付けを目指しています。

河越忠志の町政報告は年、4回の発行を予定しておりますが、毎回の全戸的配布は困難なため、配布希望していただけの方は当方まで「ご住所、お名前」をお知らせください。

むだばなし

“浜坂病院受診記録2”

去る5月に定期となる総合診療科を受診しました。待合に着くと先に親戚のおばちゃんがお友達と一緒に総合診療科の待合長いすに座っておられ、ごあいさつをしてから隣の長いすで待っていると、おばちゃんのお友達の『いつまで経っても順番がこない。何度、尋ねても「もう少し待っていて下さい。」って言われてしまう。』『もう、我慢できないから帰る。』との声と親戚のおばちゃんが引き留めようと説得している声が聞こえてきました。なんとかしなくてはとの思いで、お友達から予約券を預かり、窓口で尋ねると「まだ、予約の時間になっていませんよ。」との事。予約の時間より、ずいぶん早く来ておられることが分かり、お伝えしました。お友達は、納得され、安心して待っていただけることになりました。「患者さんが減らなくて、良かった！」でも、もっと患者さんに優しい対応はなかったのかと少し考えさせられることになりました。



町政報告 2018年夏 第3号

とち 栃の実 通信

(ただっちゃん つうしん)



新温泉町議会議員

かわごえ

河越ただし

住民の幸せ追求が町政のつとめ

発行：河越 忠志

〒669-6801

新温泉町井土 978-1

TEL0796-92-2428 FAX92-2206

E-mail: take2428co@coffee.ocn.ne.jp

http://take2428.bizmw.com/

祝) 日本遺産認定：北前船寄港地諸寄



北前船係留杭跡(塩谷)

西村町長の勇断

【出産祝い金等断念】

先の3月議会に提案された「出産祝い金と小学校・中学校入学時の就学支援金」事業は西村町長の選挙公約でした。

目的は高校の2学級の定員にも満たなくなってきた本町年間出生者数の増加です。しかし、3月議会では財源のあり方、投資効果への疑問、期待できない継続性など様々な側面から政策見直しが求められました。5月に開催された総務教育・環境福祉各常任委員会において、再度、修正提案されましたが、「子育て世代には有難い政策」との意見があった一方、当初からの懸念は払拭しきれませんでした。その後、6月議会において正

式な見直しを表明されました。この件に関しては議会の適切な議論と先の公約に優先した西村町長の勇断に賛同します。

岡山県奈義町では現在の新温泉町と同じ値であった出生率が2倍の2.8に上ったことが日本海新聞に掲載され、読まれた方もおられると思います。奈義町の政策に「出産祝い金」もあり、第1子10万円、第2子15万円、から第5子以上40万円を支給する制度になっています。他の政策を含めた出生率アップ作戦が効を奏したものだと思えます。一般的に出生率は合計特殊出生率を指し、15歳から49歳までの女性の各年齢別出生率の合計ですが、本町は18歳以上の若い女性が少ないことが更に深刻な課題となっています。そのため、複合的な政

策が求められています。子育て世代の総数を維持し、増やすことを目指す上での町長が別に掲げている住宅関連政策に関して、不十分ながら6月議会の一般質問において提案いたしました。

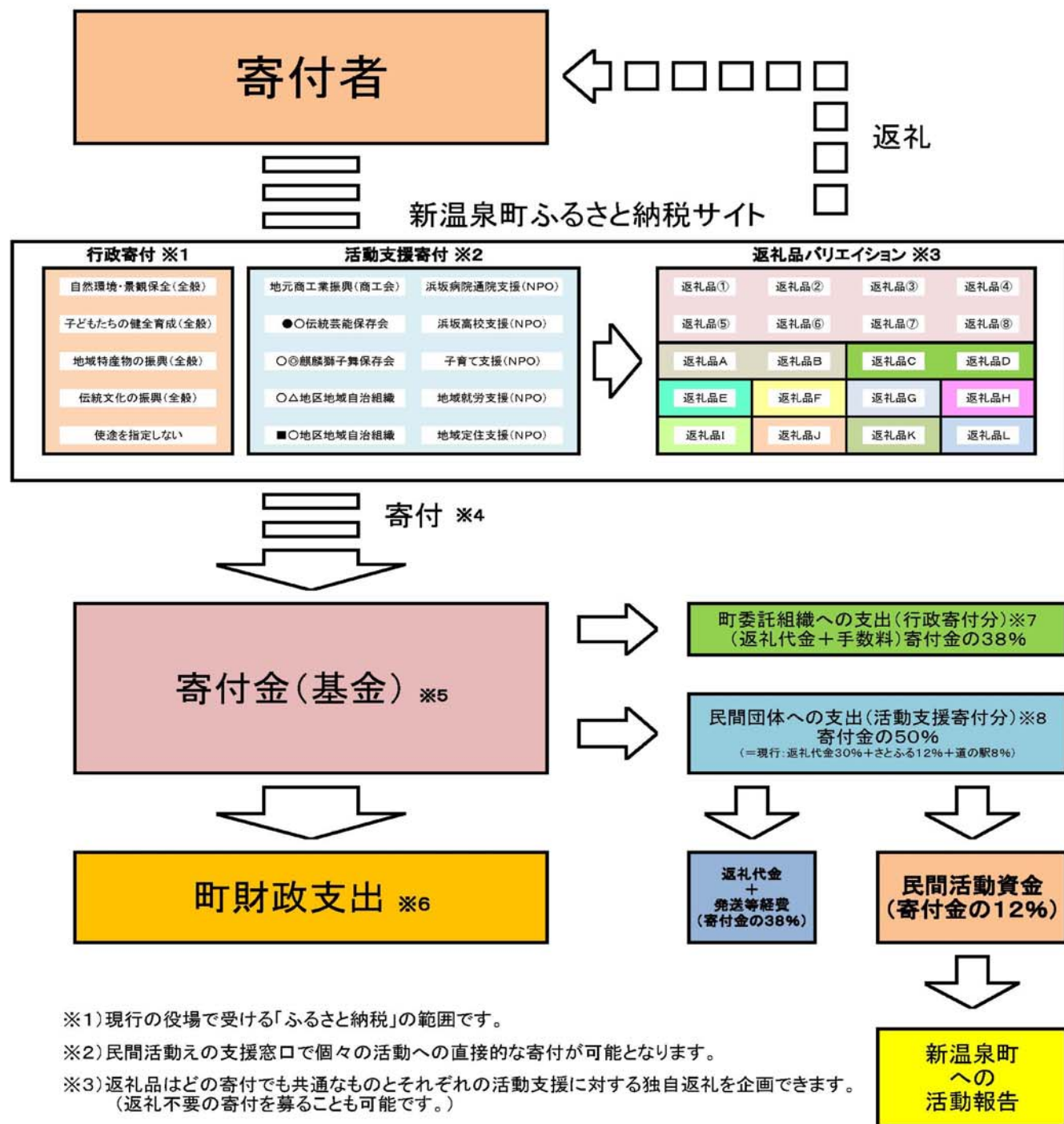
【諸寄：北前船寄港地認定】

諸寄が北前船寄港地として日本遺産に追加認定されたことは皆さん御存じのことと思えます。6月議会において、複数の議員が一般質問等で本町の取組み方について提起し、活発に議論されました。その中で日本遺産は経済活動に活かすことを目的としており、戦略的企画や住民・観光客に受け入れられる物語創りが重要であるとの意見が出されました。地域の誇り・活気創りを応援していきたいと思えます。(詳細：議会だより第51号参照)

町民を本気にさせる「ふるさと納税活用提案」(一般質問)

作成:河越忠志

ふるさと納税制度の具体的システム提案(概要図)



- ※1) 現行の役場で受ける「ふるさと納税」の範囲です。
- ※2) 民間活動への支援窓口で個々の活動への直接的な寄付が可能となります。
- ※3) 返礼品はどの寄付でも共通なものそれぞれの活動支援に対する独自返礼を企画できます。(返礼不要の寄付を募ることも可能です。)
- ※4) このサイトを利用した全ての寄付金は町財政上の歳入とします。
- ※5) ふるさと納税寄付金は財政上の「ふるさと基金」として一括管理します。
- ※6) 「ふるさと基金」のうち、民間団体への支出を除いた範囲を町の独自事業費として支出します。
- ※7) 行政寄付分に対する返礼にかかる費用の支出(寄付金の38%)を表しています。
- ※8) 民間団体への活動支援寄付分支出(寄付金の50%)を表しています。この中には、返礼にかかる費用の支出(寄付金の38%)を含んでいます。

提案の有効性

一般質問でのふるさと納税活用提案については、議会日より第51号のとおりですが、質問の通告内容が多過ぎ(反省)時間不足となったため、十分な説明ができず、会期内に左図と以下の内容を町長部に追加提案しました。

現在、本町が取り組んでいる「ふるさと納税制度」活用における返礼内容の乏しさは、参加意欲、目的意識の持ちにくさの現われではないか。商品販売といった目的以外のねらいが不足した取り組みになっているからではないか。ふるさと納税の活性化につながる多様な目的を明確に示した取り組みにするため、民間団体の力を総動員できる仕組みにし、その成果を地域課題解決のための活動資金に充当できる活用を提案しました。

<取り組み可能な課題>

- ・地域包括ケアシステムの基礎となる「地域の助け合い活動」の支援
- ・浜坂病院等通院や買い物目的移動対策活動支援
- ・地域伝統芸能継承活動、地域景観維持活動支援
- ・地域商工業振興(雇用対策、承継対策)活動支援
- ・遊休農地対策、労働力不足対策等々支援活動
- ・地域の小規模災害対策対応地域公共物維持対策活動
- ・子育て、高校を含む教育環境維持改善活動支援

その他、行政がかかわるより、当事者(地域、団体)が直接、対応することが効率的である

事案はたくさん潜在しており、資金支援さえあれば、当事者(地域)が迅速に解決できる課題、問題も多くあります。集落を中心とする地域コミュニティ維持等地域自治組織活動の支援に直結しているものと思われます。そのようなことを踏まえて、ふるさと納税に町民全員がかかわれる取り組みとすることは本町にとって有効だと考えます。

活動あれこれ

ふるさと納税には寄付する方の思いが込められます。ふるさと納税の仲間や親戚などからの働きかけがあれば、懐かしい故郷を応援してもらえると嬉しいです。また、返礼もお墓掃除や墓参り代行、空き家管理などの労務提供など、オリジナルなお礼も出てくるでしょう。気持ちだけでいいよもあるでしょう。更に、返礼品とし

ての販売に頼らなくていい品物の返礼品登録も多くなるはず。提案は、現行制度の「さとふる」利用と並行して、町政への寄付に民間活動支援枠を加えた独自のふるさと納税サイト(概要図参照)を設けることです。ふるさと納税活用が「このまち(ふるさと)の方々全員が元気になる」取り組みとなることで、町政運営にも好影響をもたらすものと考えます。みんなが考え、参加する「ふるさとづくり」につながっていくはず。

本町の重要課題

本町が抱える大きな課題、①医療・福祉環境の維持改善、②子育て教育環境の改善、③農・漁業、商工業等全分野の仕事(雇用)環境の改善、これらを整えるためには、みんなが元気・本気でなければならぬと考えています。



春來地区の「樺山公園まつり」は、田植えが終わる「しろめて」の時期のイベントで、当地区の大きな行事の一つとなっています。参加者へのおもてなしと地区の方々の笑顔、そして、春來地区の皆さんの故郷への情熱が印象的でした。